

1 研究主題

「できた!」「分かった!」とすることができる児童の育成
～ICT機器を活用した効果的な学習指導の追究を通して～

2 研究のねらいとこれまでの取り組み

これまで、名古屋市教育委員会が重視している『なかまなビジョン』を基に、話し合い活動を大切にした（対話的な）学び、学習のめあてをもち、学んだことを振り返る（主体的な）学びができる授業づくりに取り組んできた。これにより、児童は自身の学びや変容を自覚したり、自分の考えを広げたり深めたりしていく力を伸ばすことができるようになってきた。

昨年度の学校評価における児童アンケートの結果から、勉強や運動は楽しいが、自分の言葉で文にまとめたり、発表したりすることに課題があることが分かった。

また、ICT機器を十分に活用できていないという課題もあった。

そこで、自分の言葉で文にまとめたり、発表したりすることについては、今後、このような学習の機会を増やしていくとともに、ICT機器を活用することによって得られる効果的な学習指導を今年度の重点課題として追究していくことで、「できた!」「分かった!」とすることができる児童の育成を目指す。

3 研究の方法

児童の「できた!」「分かった!」につながる授業づくりに必要な要件

- ① どの教科のどの場面でICT機器を活用するのか、学習効果を想定し、計画的に授業を行う。（・問題提示 ・意見の交流や共有 ・調べ学習 ・ノート作成など）
- ② 授業実践は、ICT機器を活用する場面を取り上げるようにする。